

毛里田の風

12月号



法人理念：多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

法人使命：「志と誇りを高く！自分も周りもしあわせに！そして、円満へ。」

* 仏教の『自利利他円満』の教えより。

社会福祉法人毛里田睦会 理事長 長谷川俊道

施設運営の方針

「安心してやすらぎのある生活」を送っていただけるよう施設サービスの充実に努めます。

12月の行事予定

25日 クリスマス会



12月のお誕生者様

今井様 90歳

澁澤様 101歳



阿部様 86歳

田村様 89歳

2025年問題とはどのような問題なのか少し触れてみたいと思います。

2025年問題とは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障費の増大が懸念される問題です2025年には、団塊の世代が約2,200万人を超えると予想されており、国民の4人に1人が75歳以上という、超高齢社会に突入します。

2025年までに起こる問題でポイントとなるのが「人口と労働力」「医療」「介護」「社会保障費」「空き家」の5つです。

今回は「人口と労働力」に触れてみたいと思います。

2025年問題で、まず直面するのが「人口問題」といえるでしょう。後期高齢者が急増する一方で若い世代が減少し、少子高齢化はさらに加速していきます。そこで問題視されるのが、「労働力人口の減少」です。労働力が減少すると経済成長が鈍化し、税収も下がります。そうなれば国民を支える社会保障費が不足し、様々な問題が発生します。特に日本の社会保障制度は「現代社会」が負担して、高齢者を支える構図になっていますので、超高齢社会の到来における影響は深刻です。



書類を折ったり、袋に詰めたり…

丁寧に時間をかけ手伝って頂き

ました。これからもお願いします。



お天気の良い日に日光浴をしました。気温が20度近くあり日差しが

とても心地よかったです。職員が枯葉や蔦を片づけていると「こう

すればいいんだよ」と手伝って頂きました😊

ご家族様へ～面会についてのお知らせ～

新型コロナウイルス感染症防止対策として、11月27日に群馬県より警戒度2から警戒度3へ引き上げられました。よって高齢者施設での面会については、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の趣旨を踏まえ、直接面会については禁止となります。今後はオンラインでの面会、ガラス越しの面会となり、平日の午前に1組、午後に1組のみとさせていただきます。

オンラインやガラス越しの面会には職員が付き添う必要がありますのでご了承ください。ご協力お願い申し上げます。

～
ご
案
内
～

介護でお困りのことがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

月曜日から金曜日の平日9時～17時の間に事務所窓口へお声掛けください。お待ちしております。

連絡先：TEL：0276-56-9357 FAX：0276-56-9358 介護支援専門員：石原ひろみ

E-mail: info@tokuyou-morita.com HP: https://tokuyou-morita.com

〒373-0016 群馬県太田市矢田堀町361番1

特別養護老人ホーム毛里田

ダイヤより



🍷 五感を使い秋の味覚焼きも味わっていただきました 🍷

視空間認知機能の障害

単に物を見るといった視力とは異なり、色や形を識別する能力や目標物と背景と分別する能力、奥行きや距離感を判断する能力など、複雑に絡み合っています。

触覚や聴覚が保たれていれば、触ったり聴いたりすることで、対象が何であるかを認識することは可能です。

アルツハイマー型認知症だけでなく、レビー小体型認知症や血管性認知症などでも、視空間認知機能障害は見られることがあります。

介護福祉士：亀井昌美

スペードより

”役割を作る”

高齢者・認知症の方にとって、役割を作る意味とは。自分の役割を果たすことによって、やりがいを感じ”自分はまだ出来るんだ””恩返しができた”という自信にもつながる。利用者の”出来る活動””する活動”をつぶさぬよう、これはこの方に頼めるかもしれない。出来るかもしれない。と目を向け、支援していく必要がある。施設職員と利用者が一緒になって施設を作り上げていくことで自立支援や生活の質の向上にもつながります。

介護福祉士 石原麻美



クローバーより リーダー 森田和仁



** 多目的ホール内
楽しんで過ごされる皆様 **



施設内では基本的な感染症対策として、

- ・効果的な換気方法（室内の中央を風邪が通り抜けるよう1～2時間間隔で対角にある窓を全開、換気扇の併用等で空気の入れ替えをスムーズに行う）
- ・適切な室温、湿度の管理（冬期：室温18～20℃、湿度約50%）の2点に十分配慮し理想的な環境を提供しています。



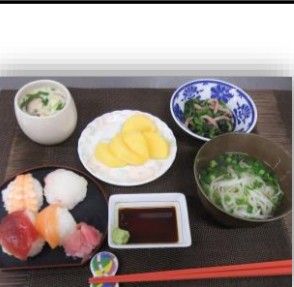
看護より 担当：看護師 小林志奈子

冬の寒さも本格的になって参りました。

年の瀬も押し迫りお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。コロナウィルスに振り回された一年でしたが…未だ収束が見られず第3派が押し寄せてきています。ご家族様は自由に面会できることを今か今かと待ち望んでいるかと思いますがもうしばらくの辛抱かと思えます。ワクチンの明るい話もあるので期待していけたらと思っています。今年は雪の当たり年と聞きます。お体を大切にお過ごしください。来年もどうかよろしく願いいたします。



調理より 担当：管理栄養士 前原紀子



七五三で提供したてまり寿司(写真)は回転ずしのシャリ2個分の大きさだったのでボリュームがありましたが、評判よく、いつもよりだいぶ早く食べ終わってました。

12月より配食サービスを始めました。昼食・夕食1食から注文できます。あたたかい手作りのお食事いかがですか？詳しくは特養毛里田のホームページをご覧ください。

